

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 1418

事業名	体育協会補助		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020		項	保健体育費・6項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	保健体育総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】			
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ市体育協会(市民及び体育協会加盟団体)			構成人数(人)
		8,000			
	実施内容	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		市民のスポーツ振興を図り、市民の体力向上、健康増進とスポーツ競技力の向上			
		(主な事業、活動内容等)			
	団体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目市内大会の実施 ・スポーツフェア-MinamiAwajiの実施 ・ランニングフェスティバルの実施 ・スポーツレクリエーション教室の実施 ・地域スポーツクラブリーダー養成講習会 ・スポーツ指導者の活用に関する地域実践研究 モデル地域 事業受託 			
		(どのような団体が、活動目的、活動内容など)			
		市を単位とするアマチュアスポーツを各競技別に統括する団体16団体と地域におけるアマチュアスポーツを統括する体育協会4協会と学校体育団体(中体連)1団体を統括する協会 市民の体位、体力向上と健全なスポーツの発展を図り格調高い文化の市づくりに寄与することを目的とする。			
	補助金算出根拠	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生涯学習文化振興課)
				<input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町体育協会を合併し、地域と種目協会で組織する体育協会を組織化する。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	11,000	9,000	11,000	10,000
	市体育協会補助金	11,000	9,000	11,000	10,000
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	11,000	9,000	11,000	10,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)	9,210	10,764	12,040	7,224
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	150	180	200	120
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2
	年間経費([A]+[B])	20,210	19,764	23,040	17,224
「構成人数」一人当り経費 (千円)	2.5	2.5	2.9	2.2	
受益者人数(8,000)一人当り経費(千円)	2.5	2.5	2.9	2.2	
経費に関する 補足説明	平成19年度予算より市予算で行っていたスポーツフェアー、ランニングフェスティバル、全淡スポーツ大会の市予選大会の経費を補助金として算入している ので、18年度比増になっているが、実質は減額になっている。				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 昨年度の行政評価を受け、組織、行事等を体育協会内で協議をはかり、効率的かつ有効的に予算を活用できるように協議してきた。旧町でそれぞれ行っていた行事が、平成18年度において統合させることができた。(健康マラソン大会、駅伝大会をランニングフェスティバルに統合。全淡スポーツ大会が、H19年度より3市体制により市予選の実施が義務づけられたことを活用し、地域でバラバラに行っていた地区対抗の大会等を市の予選に位置づけ時期等を統合することができた。)	自己評価 (5点評価) 3
	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) H18年度文部科学省委託事業スポーツ指導者の活用に関する研究事業で南あわじ市のスポーツに対する意識調査を行ったところ、市民の大半が、健康増進のためのスポーツに対するニーズが高い結果となった。市としては、市民の身近な所で、スポーツを通じて健康づくりの場の提供が不可欠であり、そのスポーツ活動の場の提供する体育協会の必要性は重要である。	自己評価 (5点評価) 4
	自己評価をふまえた現状分析 行事等は、市一本化などを行ってきたが、旧町の意識は、依然残っている。役員でもそういった意識がある中において当然参加者にもあり、市の行事、地域の行事と区分けしてしまう傾向が見られる。市の行事は、市内全域だから参加しなくとも人数が揃うだろうか、一本化により参加する場所が遠くなり参加しにくといった状況である。 現在、意識調査で南あわじ市の週一回のスポーツ実施率は、35%程度(県平均と同じ)であり、県の目標である60%に向けて展開するに当たり、行事を多くするとか市一本化することは、上記の意識がある中では、逆効果と考える。身近なところでスポーツ活動の場を提供する地域体育協会との行事を融合させながら実施する方法がよいと思われる。	
総合評価	<div style="text-align: center;"> <p>費用対効果 3</p> <p>必要性 4</p> </div>	

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>身近なスポーツ活動の場（健康増進のためのスポーツ教室の実施）の提供。</p> <p>幼児期からスポーツに対してスポーツが楽しいものであることを教えるために国体などの選手監督や兵庫県にゆかりのあるトップアスリートを派遣し、豊かな経験や優れた技術のもとスポーツ本来の楽しさを伝える教室の実施。</p> <p>市体育協会直営（事務局が企画運営）の大会について、その大会運営を見直し、競技大会等については、その専門である種目協会にて実施できるような仕組みづくり。</p> <p>市行事については、地域の行事に比べ市民の認知度が浸透していない部分があるので、市行事の普及浸透を図る。</p>	<p>身近なスポーツ活動の場を提供できる地域体育協会を存続し、市の行事と地域の行事を融合させ、市民のスポーツ週一回以上の実施率向上を図るための事業展開を図る。</p> <p>市直営大会の取捨選択。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>スポーツ行政の停滞。体育協会解散によりスポーツ情報収集力の低下。スポーツ行事の数の減少。市民のスポーツ活動の場の減少により体力の低下や発表機会の減少、競技力の低下。</p>	